

子どもたちに生きる力を育む

I 自己探求へと導く

- 生き方を考えさせる機会と場の充実
- 自己発見を支援する教育活動の実施
- 読書活動の促進
- 教育相談の充実
- 自己実現を目指した進路指導の充実

(大学教員・大学院生や社会人による特別授業)
 (生徒による自発的なイベントの開催)
 (学校図書館・公共図書館の整備・充実、子どもたちのための読書会の開催、司書教諭有資格者の養成と配置検討)
 (教育相談室の充実、スクールカウンセラーの増員や養護教諭の拡充、大学生等による相談ボランティアの活用)

II 豊かな人間関係づくりを促す

- 異年齢集団交流プログラムの立案と具体化
- 子どもたちの学校外活動の促進
- 学社融合の視点に立った体験活動の具体化
- 国際交流活動の推進
- 福祉教育の推進
- 子どもたちによる「震災から学ぶシンポジウム」や弁論大会の開催
- いじめ対策の推進
- 人権教育の推進

(ユースセミナー・ウィークエンドクラブの充実)
 (土曜ふれあい学級の充実・発展)
 (国際シンポジウムの開催、外国人学校との交流)
 (障害者や高齢者等とのふれあいの機会の拡大、ボランティア教育の充実)
 (いじめ対策推進会議の設置、スクールアドバイザーの派遣)
 (人権尊重の教育の基本方針の策定)

III 生きることへの積極的構えを培う

- 感動や夢を与える事業の展開
- 優れた指導者による部活動指導や指導者研修の実施
- 性教育の在り方の検討
- 生と死を考える教育・宗教的情操を培う教育の実施
- 人間教育の視点に立った新たな防災教育の推進

(各分野の第一人者との共同体験活動、自然学校の充実)
 (学校における性教育検討委員会の設置、副読本の作成)
 (子ども・親・教師の参加による「生と死を考えるシンポジウム」の開催、道徳教育・特別活動の工夫)
 (副読本の作成、カリキュラム化、ボランティア教育の充実)

IV 個が生きる学校教育を創造する

- 新しい高等学校教育の創造
- 過度の受験競争の緩和等を目指した高等学校入学者選抜の在り方の検討
- 中学校と高等学校との連携
- 部活動の在り方の検討
- 許容度の高い学校教育の推進
- 開かれた学校づくりの推進

(総合学科の設置、生涯学習社会に対応した単位制の定時制高等学校の設置、学校の特色化の推進、学校間連携の促進)
 (選抜方法の多様化と選抜尺度の多元化、通学区域の検討)
 (中・高合同協議会の設置)
 (望ましい部活動についての通知、地域スポーツクラブの育成と活用、地域のスポーツ・芸術文化指導者の活用)
 (転校やクラス替え等の弾力化)
 (余裕教室の活用)

V 家庭において子どもとのきずなを深める

- 親子共同の勤労体験事業の実施
- 親の啓発活動の推進
- 子育て支援の長期プランの策定
- 祖父母・親・子どもによる三世代ふれあい
- 地域活動の展開
- 地域における子育ての共同化の促進

(親業講座の開設や親業シンポジウムの開催、リーフレット作成)
 (子育て学習センターを中核とした子育て支援ネットワークの構築、子育てグループ交流大会の開催)

VI 子どもたちの成長に関わっていく社会をつくる

- 県教育委員会制作のテレビ番組の放映
- 生徒によるテレビ・ラジオ番組の制作
- テレビ番組の内容の自主規制への働きかけ
- 情報化に対応した教育の推進
- 国際化に対応した教育の推進
- 地域の教育力の活性化の促進
- 地域における子どもの文化活動の促進

(ビデオ教材の充実、情報リテラシーの育成)
 (ディベート等の授業への導入)
 (地域教育活性化センターの設置、教員のボランティア活動の促進)

VII 子どもたちの成長を援助する教師となる

- 教員採用システムの検討
- 教育上の実践課題解決のためのチームづくり
- 大学・教育研究機関と学校(小・中・高)との連携
- 現職教員研修の充実
- 教師と生徒とのふれあいの時間の確保

(関係機関や専門機関等との連携)
 (企業派遣や海外派遣の拡充、学校外活動促進のための教員研修の充実、カウンセリングや生徒指導の専門家の養成)
 (事務改善によるゆとりの創造)